

平成28年度進行管理・評価シート
明和町歴史的風致維持向上計画（平成24年6月6日認定）
（最終変更平成28年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施に向けた連携体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市マスタープランの特定用途制限地域の取組み	2
2 景観に配慮したサイン計画の取組み	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 坂本古墳公園整備事業	4
2 史跡公園(下園東区画広場)整備事業	5
3 公園維持管理施設等除去事業	6
4 史跡公園(祓戸広場)整備事業	7
5 幹線排水路等整備事業	8
6 柳原区画周辺散策道等整備事業	9
7 祓戸散策道整備事業	12
8 神宮橋整備事業	13
9 斎宮跡景観形成事業	14
10 案内標識・サイン整備事業	15
11 斎宮跡歴史観光講座事業	16
12 ガイドボランティア育成事業	17
13 まちかど案内所設置事業	18
14 斎王サミットの開催	19
15 史跡活用調査	20
16 文化遺産に関する総合的な情報発信事業	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 町による文化財指定	22
2 文化財の防災	23
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	24
4 文化財の活用と観光振興	25
5 伊勢街道の啓発	26
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 斎宮跡にWi-Fi使用可能に 外国人観光客にも対応 ほか	27
⑥その他(効果等)	
1 住民意識の向上	30
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	32

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成28年度
計画実施に向けた連携体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致維持向上を図っていくために「明和町歴史的風致維持向上計画庁舎内会議」の設置を行い、事業担当課間の調整及び庁舎内合意形成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

まち整備課、斎宮跡・文化観光課が中心となって事業の進捗管理、評価について協議し、推進している。平成27年度は、歴史的風致維持向上をはかるため、事業推進と理解を広めるため、(1)町議会、課長会議での事業の周知(2)地元自治会、関係団体への事業説明会の実施を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

計画策定時
(平成23年度)

建設課 1人
 企画課 1人
 斎宮跡課 1人



平成24年度

まち整備課
 工務係 1人
 斎宮跡・文化観光課
 文化財係 1人
 文化観光係 1人



平成26年度～28年度

まち整備課
 工務係 2人
 斎宮跡・文化観光課
 文化財係 2人
 文化観光係 1人



地元説明会(平成28年5月12日、
8月19日、平成29年1月27日)

【協議内容】

・平成28年度の事業概要ほか



明和町文化財保護審議会
(平成29年2月21日)

【協議内容】

・県指定文化財への指定について
 ・平成28年度の文化財の事業概要について



明和町歴史的風致維持向上計画
協議会 (平成29年2月10日)

【協議内容】

・現地視察(事業進捗状況説明)
 ・今後の歴史的風致維持向上計画について
 ・歴史的風致活用国際観光支援事業について

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度
都市マスタープランの特定用途制限地域の取組み		■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容
景観の保全には規制が伴うことから、景観については、この歴史的風致維持向上計画の各事業を推進していくことで住民意識が芽生え、景観保全の機運の高まりと共に、明和町景観計画の策定や三重県屋外広告物条例制度の活用を、地域住民と協働して検討していく。

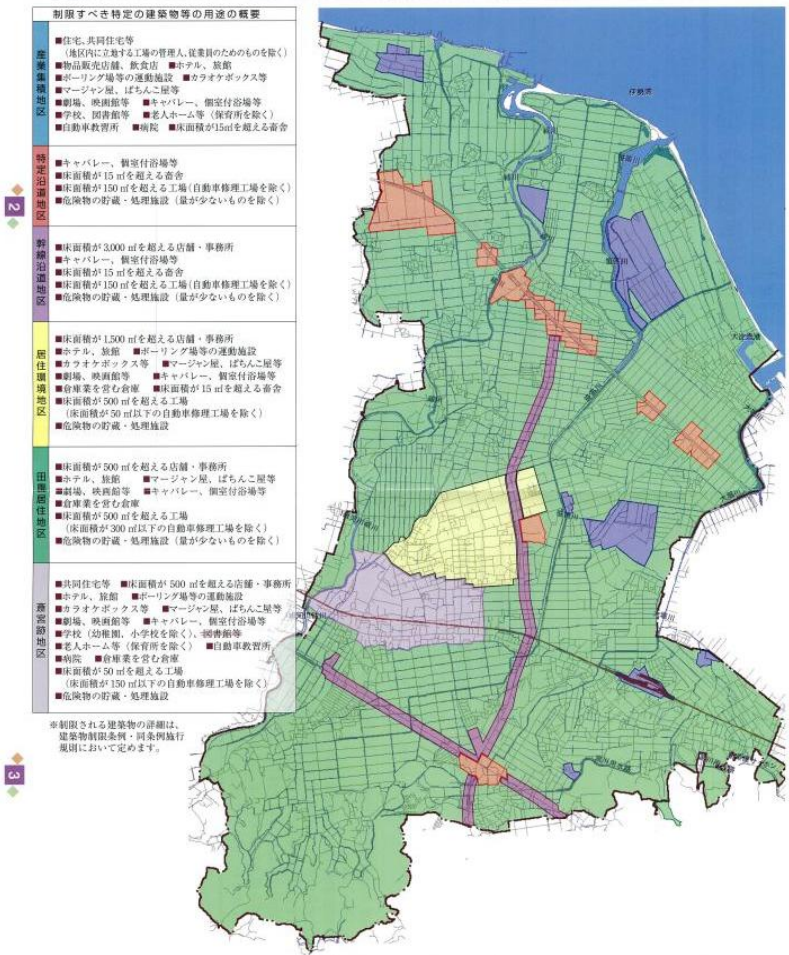
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
町全域における特定用途制限地域の指定に向け、「明和町特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例」及び「明和町特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例施行規則」を平成27年4月1日に公布し、平成27年10月1日に施行した。
また、重点区域内の景観の規制について風景条例(案)の素案作成に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後は、風景条例(案)の施行に向けて地元説明会を実施し理解を得ていく。

状況を示す写真や資料等

特定用途制限地域の指定区域と制限される建築物の概要

明和町全域に6つの特定用途制限地域を指定します。それぞれの特定用途制限地域の方針と制限される建築物等の概要は次のとおりです。



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
景観に配慮したサイン計画の取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	来訪者が斎宮跡を効果的に、かつ、分かりやすく回遊でき、史跡斎宮跡を知っていただけるように、史跡内やその周辺の案内サインや誘導サイン等について、デザインの統一や内容の刷新、また、設置箇所の見直しや増設を行うなど、再整備を行う際の指針となる(仮称)史跡斎宮跡案内サイン等整備ガイドラインを策定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
また、事業の地元説明会を平成28年7月26日、平成29年3月3日の2回実施し、色彩、デザイン、素材を統一に向けたデザインガイドラインに基づき、案内板や散策道等の整備を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、ガイドラインに基づき事業を進めるとともに、関係機関、企業、地元との説明会開き周知を図る。	
状況を示す写真や資料等			

【無電柱化及びカラー舗装整備】



整備前



整備後

【斎宮駅周辺整備整備(園路、休憩所、外灯、ベンチ、芝生広場)】



整備前



整備後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
坂本古墳公園整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～平成28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	日本最後の前方後方墳である坂本1号墳のある坂本古墳群を史跡公園として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1号墳2号墳、3号墳の復元修景整備、園路、駐車場、植栽、外柵、案内板1基、ベンチ5基、照明灯1基、屋外時計1基 トイレ(鉄筋コンクリート造 13.69㎡)1基を設置。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公園の維持管理について地元と協働で実施することが課題		

状況を示す写真や資料等



坂本1号墳



坂本2号墳



トイレ

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
史跡公園(下園東区画広場)整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業【史跡公園(下園東区画広場)】)		
計画に記載している内容	既存の公園維持管理施設敷地内を来訪者への案内・交流エリアとして活用するため再整備を行う。この整備にあたっては、文化庁と協議を行い規模、配置など検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1. (仮称)地域交流センター建設 (鉄骨造 2階建 834.33㎡) 2. 水路整備 (延長52.6m)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成29年度実施予定の下園東区画整備(排水路、東屋、シェルター、舗装、植栽等)工事は着手した。		
状況を示す写真や資料等			
 下園東区画広場計画平面図		 地域交流センター及び水路整備	
 休憩室		 ロビー	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
公園維持管理施設等除却事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業【史跡公園(下園東区画広場)】)		
計画に記載している内容	既存の公園維持管理施設等の建物を除去する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
S造平屋1棟、プレハブ造平屋8棟の除去			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
  整備前  除去後			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
史跡公園(祓戸広場)整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成31年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	史跡内を散策する地域住民や来訪者が休憩等をするための多目的広場(憩い空間)を整備する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
地元説明会を実施。(8月12日、12月15日)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
祓戸広場計画平面図		

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
幹線排水路等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成32年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	住宅地(史跡内)から流末河川に至る幹線排水路を改修し、住宅地周辺地域の冠水等の災害を解消する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内の排水路の改修 (延長39.9m、水路側面のコンクリート打設)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 改修前  改修後			

評価軸③-6-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
柳原区画周辺散策道等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成28年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業【町道坂本・斎宮線散策道、史跡公園(斎宮跡歴史ロマン広場)】)	
計画に記載している内容	来訪者や町民が回遊ルートを利用して史跡内を散策できるよう、散策路等の整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
1.【町道坂本・斎宮線散策道】 歩道(L=374m)、歩道照明(5基)の整備を行った。交差点信号柱の改修及び白熱灯からLEDへの取り替え		
2.【史跡公園 斎宮跡歴史ロマン広場】 A路線:歩道整備(118m)、横断防止柵(70m)、電気設備地中化(電柱5本撤去、分電盤8か所設置、照明5基設置)		
3.【篠林区画広場整備】 西広場:200㎡、カラーコンクリート舗装、側溝21.4m、バリカー11基、フェンス30.45m、ベンチ1基、照明灯1基 東広場:104㎡、カラーコンクリート舗装、フェンス7.25m、		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

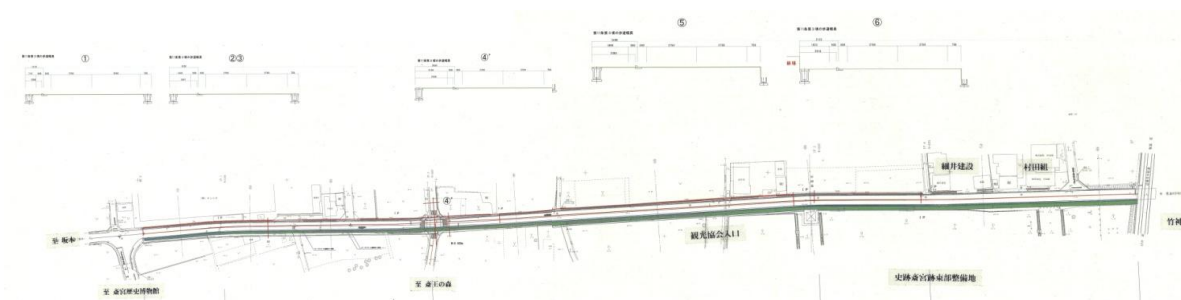
【町道坂本・斎宮線散策道】



信号柱の改修



歩道整備状況



計画平面図

項目	評価対象年度	平成28年度
		現在の状況
柳原区画周辺散策道等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

状況を示す写真や資料等

【史跡公園 斎宮跡歴史ロマン広場】A路線



整備前風景



整備後風景



電気設備の地中化

項目	評価対象年度	平成28年度
柳原区画周辺散策道等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

状況を示す写真や資料等

【篠林区画広場】



篠林(西)区画広場



篠林(東)区画広場

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
祓戸散策道整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	近鉄漕代駅～神宮橋～史跡内への回遊ルートとして散策道を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地元説明会及び境界確定を行った。幅3mのカラーコンクリート舗装(510.8m)に着手。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 計画位置図		 工事前	
 コンクリートカラー舗装			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
神宮橋整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	神宮橋は、木橋をイメージしたものとして整備し、史跡内の散策道かつ生活道路とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・河川協議及び地元説明会を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も詳細について橋の修景など関係部局との調整が必要		
状況を示す写真や資料等			
 位置図  現況写真  イメージ図			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
齋宮跡景観形成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	史跡内の道路の周囲の景観に配慮した美装化(カラー舗装等)をする。 欄干・ガードレール・カーブミラー・各種標識柱等の色を統一する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・車道のカラー舗装(町道坂本・齋宮線 140m) (町道塚山線 192m)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
坂本・齋宮線車道カラー舗装			
			
町道塚山線車道カラー舗装後			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
案内標識・サイン整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業【情報板整備】)

計画に記載している内容 誘導案内板に関して「(仮称)史跡斎宮跡案内サイン等整備ガイドライン」を作成し、来訪者にわかりやすい統一したものに改修及び新設する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

サインの配置計画に基づいて、斎宮歴史博物館南入口に総合案内板(1基)、竹神社の交差点に誘導案内板(1基)を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



総合案内板設置
(1793mm×2844mm)



誘導案内板



配置計画

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
齋宮跡歴史観光講座事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 来訪者や町民(子どもを含む。)を対象にした歴史・文化財・観光についての講座を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1. 齋宮をテーマとした体験講座を6月1～11月30日まで実施。
2. 平成29年3月20日齋宮歴史博物館シンポジウムを開催。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



体験講座の案内チラシ



シンポジウムチラシ



体験の様子

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
ガイドボランティア育成事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容
ガイドボランティアの活動内容の充実のため、講習会の開催や受講終了者の認定制度の創設等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1. 毎月末に月例会を実施、反省会、勉強会を行い内容の充実を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



案内風景

平成28年度

月	G・V 人	来客 (組)	午前(人)		午後(人)		来客合計(人)			時間 (min)
			県内	県外	県内	県外	県内	県外	合計	
4月	45	94	151	17	112	53	263	70	333	2,581
5月	57	151	179	26	169	150	348	176	524	4,095
6月	114	197	221	124	167	247	388	371	759	6,460
7月	55	81	29	40	77	74	106	114	220	3,145
8月	51	102	54	70	105	58	159	128	287	2,900
9月	69	80	143	36	250	63	393	99	492	3,040
10月	50	98	64	72	216	92	280	164	444	3,665
11月	61	81	194	88	210	143	404	231	635	4,550
12月	47	85	32	96	93	107	125	203	328	2,955
1月	54	83	35	117	102	172	138	289	427	3,300
2月	95	117	277	51	132	68	409	119	528	5,095
3月	53	110	49	83	83	129	132	212	344	4,350
合計	751	1,279	1,428	820	1,716	1,356	3,145	2,176	5,321	46,136
月平均	62.6	106.6	119.0	68.3	143.0	113.0	262.1	181.3	443.4	3844.7
日平均	2.4	4.1	4.6	2.6	5.5	4.3	10.1	7.0	17.1	147.9

平成28年度案内実績

評価軸③-13

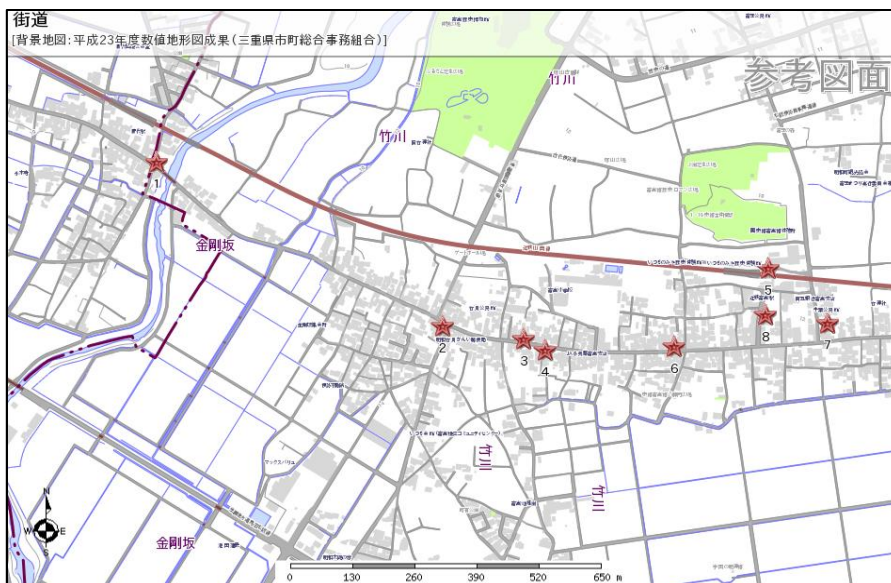
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
まちかど案内所設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	来訪者が散策する道路沿いの店舗や民家をまちかど案内所として開設してもらい、パンフレットや散策マップを設置する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
店舗などの協力を得て、箇所設置。入り口には目印となるのぼりを立てて、街道マップやパンフレットなどを重点区域内に8か所設置している。(街道マップ、パンフレットの補充、のぼりの補充)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



設置風景



設置位置図(8か所)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
(仮称)斎王群行サミットの開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	都から斎宮、斎宮から都への斎王が通ったゆかりの市町村とサミットを開催し、斎宮・斎王に関わりのある市町村がどのように連携して全国にPRするか協議する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
斎王サミット準備会を亀山市、名張市、明和町の2市1町で準備会を立ち上げた後、具体的には進んでいない。ただ、先だって、斎宮と関連のある「国指定史跡 久留倍官衙遺跡」と事業連携をおこなうため、平成28年11月25日、四日市市と連携協定を締結。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	広域にわたることと、同様のサミット会議があることから、設立の趣旨を明確にすることが必要。 事業計画案などを作成し、設立準備会を開催する。		
状況を示す写真や資料等			
(趣旨) 都から斎宮・伊勢神宮、斎宮から都へ斎王群行が通った市町、或いは斎王にゆかりのある市町とサミットを開催し、斎王に関わる市町が斎王にまつわる物語や歴史を掘り起こし、連携して全国にPRし、地域の活性化に寄与する。 【関連市町】 県内: 亀山市、津市、松阪市、明和町、伊賀市、名張市 伊勢市、(鈴鹿市)(四日市市) 県外: 京都府: 京都市、木津川市、大山崎町 滋賀県: 大津市、草津市、栗東市、湖南市、甲賀市 奈良県: 宇陀市、奈良市 大阪府: 大阪市 【連携協定と事業】			
			
調印式		パネル展示	

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
史跡活用調査		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 散策回遊コースの新設・誘導案内板の設置場所等を検討し、回遊性の向上についての調査考察及び事業効果の分析・検証を行う。

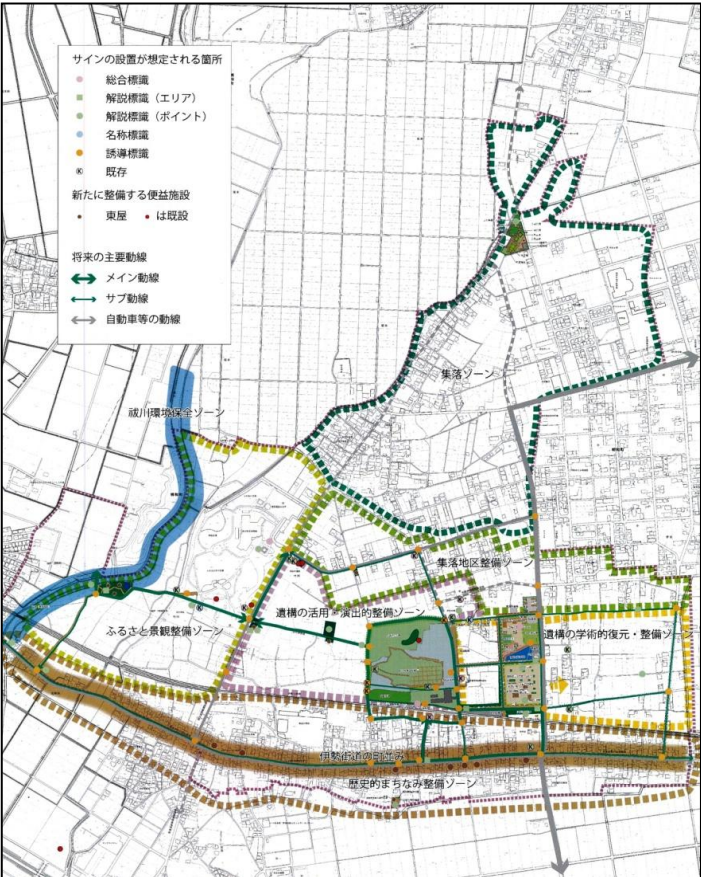
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業計画で平成25年度、27年度、29年度と2年ごとに実施する計画であったが27年度は未実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画どおり進捗している
■計画どおり進捗していない 調査と調査の間隔が2年と短いため、間隔を5年として30年度に実施する。

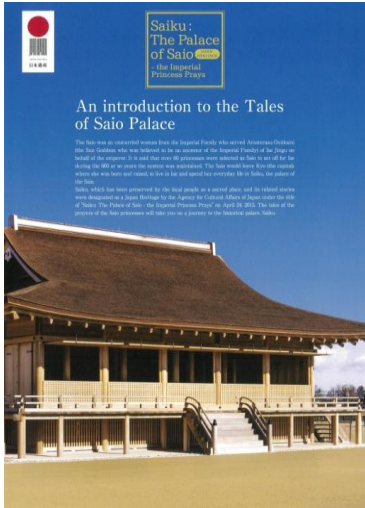
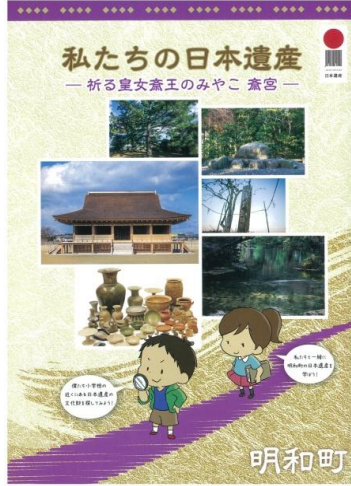
状況を示す写真や資料等



史跡活用方針図

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化遺産に関する総合的な情報発信事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	日本遺産魅力発信推進事業、町単費		
計画に記載している内容	史跡斎宮跡を重点区域の文化遺産として広く一般に情報発信をするため、斎宮跡のDVDの制作やスマートフォンの文化遺産を活かした観光アプリの開発、パンフレット、散策マップ等を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産に認定されたことを記念して、情報発信のための解説本の英語版、小学生を対象にした漫画板を作成した。 また、乗合バス、電車にラッピングして多くの人に周知した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
解説本(英語版)		解説本(小学生用)	
			
ラッピングバス		ラッピング電車	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
町による文化財指定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	町内に分布する文化財について、未指定の文化財については、順次、調査・研究を行い、得られた結果から適切な価値付けを行って、必要に応じて文化財の指定について検討を行っていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
県指定文化財に1件指定 1. 安養寺所有の仏通禅師所用法衣並びに什物が町指定文化財から県指定文化財に指定。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的建造物の調査結果を踏まえ、登録文化財も検討する。	
状況を示す写真や資料等		
 指定書交付式		
 県指定文化財		

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	毎年1月26日の文化財防火デーに合わせ、いつきのみや歴史体験館で松阪地区広域消防組合明和消防署と連携を図り防災訓練を実施している。今後は、文化財の所有者、管理者、地域住民の参加を呼びかけ、文化財を中心とした防災、防犯意識の啓発に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年1月26日に、文化財防火デーに合わせ、いつきのみや歴史体験館及び斎宮平安の杜において防火訓練(放水訓練)を実施した。消防用設備の点検や消防署による消火器の取り扱いの指導も行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



いつきのみや歴史体験館



消防署による消火器の取り扱い指導(さいくう平安の杜)

評估軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内
容

町内各地に点在する史跡をはじめとした文化財等の歴史的資源に対して、町民、来訪者が触れ親しむ機会を一層創出することで、文化財保護に対する意識の啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1. 企画展「土器づくりのさと-有爾郷-」を明和町歴史民俗資料館にて平成28年7月23日～8月28日に開催し、遺物等を公開した。(82名)また、8月6日には、展示説明会(参加者25人)、遺跡説明会(参加者25人)を実施した。
2. 解説シートを2種類作成、さいくうあと通信18号～21号を発行
3. 町内伝統行事・風習・伝承聞き取り調査(上野地区)及び解説シートの作成

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	来館者数に伸び悩んだ。広報の方法等を工夫し、文化財に興味・関心の薄い層への取り組みが必要である。 状況を示す写真や資料等



展示の様子



展示説明会(平成28年8月6日 参加者 25名)



解説シート



聞き取り調査(上野自治会)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
文化財の活用と観光振興		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	平成25年の伊勢神宮式年遷宮にあわせて、「内宮、外宮、齋宮」の3つがセットであることを啓発する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
周辺自治体や大学と連携して広域パンフレットを作成。 Wi-Fiステーションの設置、平安時代の齋宮の様子がわかるVRを作成。多言語誘導案内板の設置を行い外国人対応も取り組んだ。また、魅力のある齋宮を目指してサイクリングや古代衣装体験などの実証実験も実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

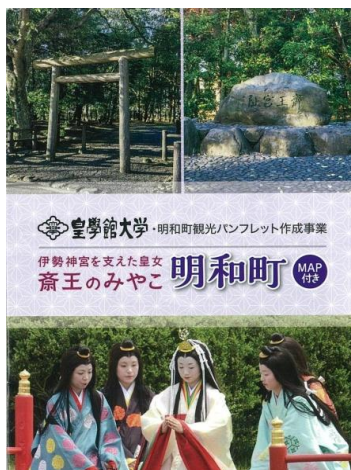
状況を示す写真や資料等



広域パンフレット



Wi-Fiステーション



大学生から見た観光パンフレット



齋宮の様子がみえるVR

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
伊勢街道の啓発		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内
容

歴史文化を継承する担い手の育成に関する取組みの推進
各種イベントやシンポジウムの開催時に発表の場や機会を設けたりして活動の活発化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町内を通る伊勢街道について、史跡斎宮跡伊勢街道まちづくり会が昨年作成した「伊勢街道ものがたり」を配布し、それを使って、伊勢街道ウォークなどを実施。(1200部)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



シンポジウムの様子

チ ラ シ



伊勢街道ウォーク

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成28年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
斎宮跡にWi-Fi 屋外でも使用可能に	H28.8.18	中日新聞/夕刊三重	
外国人観光客にも対応 明和の新案内所が完成	H28.10.4	中日新聞	
斎宮の繁栄 VRで紹介	H28.12.6	中日新聞/夕刊三重/読売新聞	
斎宮跡観光拠点が完成	H29.3.20	中日新聞/読売新聞/夕刊三重/伊勢新聞	
防空壕 指定文化財に 明和町 県内初	H28.8.11	朝日新聞/夕刊三重/毎日新聞/中日新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

- 史跡斎宮跡整備に関する記事
 - ・斎宮に噴水の広場 (H28.4.4 夕刊三重)
 - ・斎宮跡にWi-Fi 屋外でも使用可能に (H28.8.18 夕刊三重/中日新聞)
 - ・いつきのみや地域交流センター ホールに最大300人収容 (H28.9.7 夕刊三重)
 - ・外国人観光客にも対応 明和の新案内所が完成 (H28.10.4 中日新聞)
 - ・斎宮の繁栄VRで紹介 (H28.12.6 中日新聞/夕刊三重/読売新聞)
 - ・明和町の斎宮跡 進む整備、知名度向上 集客期待も町負担は増 (H28.12.23 伊勢新聞)
 - ・斎宮跡観光 拠点が完成 (H29.3.20 中日新聞/読売新聞/夕刊三重/伊勢新聞)
- 明和町の文化財に関する記事
 - ・防空壕、指定文化財に 明和町 県内初 (H28.8.11 朝日新聞/夕刊三重/毎日新聞/中日新聞)
 - ・かつて神宮奉納の拠点 明和町ふるさと会館で展示 有爾郷の土器遺跡を紹介 (H28.7.27 夕刊三重)
 - ・仏通禅師の法衣や剃刀 明和町の安養寺蔵 鎌倉時代の県内第一級資料

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成28年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
知名度向上へ知恵絞る 明和の斎宮跡ストーリー日本遺産一年		H28.4.4	中日新聞
日本遺産「斎宮」PRへ 近鉄アートライナーと三交バスラッピング車両、来月運行		H28.6.29	伊勢新聞/夕刊三重/中日新聞/みえ中日ライフ/読売新聞
レンタサイクル実験 斎宮で 日本遺産活用推進協		H28.10.4	伊勢新聞/夕刊三重/中日新聞/朝日新聞
斎宮の主要建物を特定 奈良時代の柱跡を発見		H29.2.11	中日新聞
久留倍官衙遺跡×斎宮跡 四日市市と明和町相互PRへ		H28.11.9	中日新聞/夕刊三重
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
●日本遺産に関する記事 ・「知名度向上へ知恵絞る」明和の斎宮跡ストーリー日本遺産一年(H28.4.4 中日新聞) ・「斎宮アプリで学ぼう」明和町が開発 無料配信 (H28.4.6 中日新聞/読売新聞) ・日本遺産「斎宮」PRへ 近鉄アートライナーと三交バスラッピング車両 来月運行(H28.6.29 伊勢新聞/夕刊三重/中日新聞/みえ中日ライフ/読売新聞) ・レンタサイクル実験 斎宮で日本遺産活用推進協 (H28.10.4 伊勢新聞/夕刊三重/中日新聞/朝日新聞)			
●史跡斎宮跡発掘調査に関する記事 ・斎宮の発掘現場 役人の屋敷地か 建物跡から高級陶磁器 (H28.8.26 中日新聞) ・4回の予定、6回に 斎宮の発掘調査説明会多くの来場者、成果聞く (H28.8.30 夕刊三重) ・斎宮の主要建物を特定 奈良時代の柱跡を発見 (H29.2.11 中日新聞) ・宮殿板塀の柱穴跡発見 奈良時代の斎王解明に前進 (H29.2.22 夕刊三重/中日新聞/産経新聞)			
●斎宮の紹介・催し・イベントに関する記事 ・三重大、皇學館大学 合同シンポ「桓武天皇と斎宮」 (H28.4.12 読売新聞) ・花でおもてなし平安の杜周辺飾る (H28.4.18 中日新聞) ・平安期の端午節句 知る (H28.4.25 夕刊三重) ・「発掘、いつでも見られる」斎宮跡、体験ミュージアムに (H28.5.12 夕刊三重) ・斎宮の杜 気球から眺める (H28.8.28 中日新聞) ・いつきのみや歴史体験館 入館50万人達成 (H28.10.13 伊勢新聞、中日新聞、夕刊三重) ・久留倍官衙遺跡×斎宮跡 四日市市と明和町相互PRへ連携 (H28.11.9 中日新聞/夕刊三重) ・かるた初心者、93人が熱戦 明和町の西脇殿などで (H28.11.28 夕刊三重/中日新聞) ・唐三彩陶枕の破片展示 斎宮歴史博物館で (H28.11.30 中日新聞) ・「春よ、こい」など箏で合奏 復元建物 西脇殿 (H28.12.5 夕刊三重) ・平安時代の追儺再現 (H28.12.24 夕刊三重/中日新聞) ・あでやかな斎王 梅まつりに彩り (H29.2.26 中日新聞) ・明和で春絵巻 平安衣装楽しむ 試着体験など祭 (H29.2.27 中日新聞) ・復元建物の構造など再現 19日のイベント、先着で無料配布 斎宮歴博ペーパークラフトを制作 (H29.3.17 夕刊三重)			

評価軸⑤-3 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		平成27年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
2016ジュニアサミット 伝えた！郷土の誇り平安衣装で盤双六 いつきのみや歴史体験館	H28.4.26	中日新聞/読売新聞/毎日新聞/夕刊三重
雅楽響き、静々と 群行に來た人らで斎王まつりにぎわう	H28.6.6	夕刊三重/朝日新聞/伊勢新聞/中日新聞
ラインスタンプ めい姫 仲間入りじゃ	H28.6.24	中日新聞
めい姫の十二単バウム 完成セレモニー	H28.10.24	中日新聞
斎王の旅 すごろくで皇學館大生明和の観光パンフ作成	H29.3.16	中日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
●伊勢志摩サミット・ジュニアサミットに関する記事 ・2016ジュニアサミット 伝えた！郷土の誇り 平安衣装で盤双六いつきのみや歴史体験館 (H28.4.26 中日新聞/読売新聞/毎日新聞/夕刊三重) ●斎王まつりに関する記事 ・「斎王まつり」PR 実行委が県庁訪問 (H28.5.17 毎日新聞/伊勢新聞/中日新聞) ・雅楽響き、静々と 群行に來た人らで斎王まつりにぎわう (H28.6.6 夕刊三重/中日新聞/伊勢新聞/朝日新聞) ・初代斎王まつりなど振り返る写真展 (H28.9.24 夕刊三重/中日新聞) ●明和町観光PRに関する記事 ・国際交流員トニーさん 外国人に斎宮を案内 (H28.5.9 夕刊三重) ・ラインスタンプ めい姫 仲間入りじゃ (H28.6.24 中日新聞) ・ラインスタンプ第2弾やに 明和町キャラ めい姫 (H28.9.1 中日新聞) ・「サザエさん」県内訪ね歩く あすから半年間放送オープニングに登場 (H28.10.1 中日新聞/読売新聞) ・めい姫の十二単バウム 完成セレモニー (H28.10.24 中日新聞) ・「斎王」表現 明和の逸品 高校生考案美しい色 (H29.1.6 読売新聞) ・斎王の旅 すごろくで皇學館大生明和の観光パンフ作成 (H29.3.16 伊勢新聞/中日新聞)		

		評価対象年度	平成28年度
項目			
住民意識の向上			
計画に記載している内容	地域の歴史的資源の保全や伝統文化の継承に取り組む各種団体を町内だけでなく、「斎宮」と深い関わりを持つ伊勢市内(伊勢神宮)の団体を含め、町広報等で紹介したり、各種イベントやシンポジウムの開催時に発表の場や機会を設けたりして活動の活発化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
3棟の復元建物を含めた「さいくう平安の杜」が完成したことにより体感の拠点ができ、史跡内を魅力的な回遊が可能となった。また、平成27年4月22日の日本遺産の認定を受けたことで知名度の向上につながり、観光客が増加した。 これらのこともあり、地域住民のボランティア団体「呉竹倶楽部」が結成され、平安の杜の案内及び管理、イベントへの出店、草引き、清掃など行っている。斎宮ガイドボランティアの案内件数も増加し、徐々に住民の歴史的風致への誇りと関心度が高まってきた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし	今後も引き続き、住民が参加でき、意識向上につながる行事を行う。		
状況を示す写真や資料等			
 植栽活動風景  清掃活動風景  イベント出店風景			

住民意識の向上

状況を示す写真や資料等



子供を中心としたイベント



紙芝居を通じての斎宮啓発



野外ステージ



平安の杜西脇殿



斎宮小学校にて

評価対象年度 平成28年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称： 明和町歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の
開催日時 (第1回)平成29年 2月10日 午後13:30～15:20

(コメントの概要)

議事の内容 ・平成28年度 事業の進捗状況について(現地視察を含む)

・今後の明和町歴史的風致維持向上計画について

・明和町歴史的風致活用国際観光整備計画について

コ メ ン ト

・交流センター2階から眺められるのは、風景がよかった。斎宮全体が見渡せるのはいいと思う。観光客に来てもらえるようにPRをしてもらえれば。2階に上がるのは説明をしないと行ってもらえないので

・交流センターからの景色だけではなく、復元建物から交流センターを見た時、見えすぎるとよくない。交流センターの2階からはよく見えて、1階からはすけて見えるようにということで、竹を植えると工夫してくれたと思う。竹の都だし、竹は斎宮にはいいのでは。

・緑の扱い方は地域づくりの上で大切。斎宮のトータルイメージにもつながる。全体を見通した時や四季を見て考えていくべき。



明和町歴史的風致維持向上計画協議会
(平成29年2月10日開催)

(今後の対応方針)

- ・平安の杜から交流センターを見たとき、違和感のないよう植栽等でカバーできるよう検討していきたい。
- ・H29年度で5年間の前期事業が終了する。H30年からの後期事業について、来年度、内容変更も含めて協議をさせていただきたい。
- ・公園整備は、山林等が残っているところは、自然を活かした整備をしていきたい。